

STAGE+を楽しむ(106)(HP 収載)

—セガンのメサイア—

1. 始めに

前報(105)に引き続き、STAGE+のセガン指揮のメサイアの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、セガン指揮のメサイアの演奏を選びました。

ライブ配信 2023年12月20日 9:30

ネゼ＝セガンが地元モントリオールで《メサイア》を指揮

モントリオール・ノートルダム聖堂

再配信 2023年12月20日 20:00

再配信 2023年12月21日 4:00

現代のスター指揮者ヤニック・ネゼ＝セガンが、主にカナダで活躍する歌手陣と出身地モントリオールのメトロポリタン管弦楽団（※2000年からネゼ＝セガンが芸術監督を務める）を率いて、ヘンデルの名曲《メサイア》を演奏します。会場は旧市街に建つ、北米最大規模を誇るカトリック教会である壮大なノートルダム聖堂。輝かしいイエスの姿を物語る本作品がクリスマス・シーズンを特別なものにしてくれることでしょう。

ソリスト:

マガリ・シマール＝ガルデス (ソプラノ)、フィリップ・スライ (バスバリトン)、ローズ・ナガー＝トランブレール (メゾソプラノ)、スペンサー・ブリテン (テノール)

演奏:

モントリオール・メトロポリタン管弦楽団

指揮:

ヤニック・ネゼ＝セガン

曲目:

ジョージ・フレデリック・ヘンデル 《メサイア》 HWV 56



3. 試聴の経過

前報(105)に引き続き、スピーカーアキュライザーからのバイワイヤリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpLを接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

12月20日 9:30からのライブ配信を試聴しました。定刻より15分ほど遅れて始まりましたが、受信は第2部の冒頭にエラーがあった他は、安定していました。モントリオールでの演奏ということで字幕は英仏の説明がついています。

荘厳な雰囲気の中、モントリオールのノートルダム聖堂での演奏で、メサイアは、何回も地元のホールで演奏を聴いていますし、クレンペラーのアナログ盤は試聴によく使っていますので、お馴染みの演奏、歌唱が続きます。

合唱もソリストの歌唱も大聖堂によく響き渡ります。ソリストの声の質感もオーケストラの各パートの音の質感も十分です。収録環境の大きなわりには、オーケストラの繊細な弱音も、通奏低音も明瞭です。ハレルヤコーラスも迫力があり、終盤のトランペットとバスバリトンの掛け合いも明瞭です。







4. まとめ

LAN アクライザーや Crstal EpL の効果により、大聖堂における大編成の曲の演奏のライブ感があますところなく伝わってきました。

以上